

プログラム番号 : SL:10-1-1999 REST., PROS., ORTHO.

部門 : 歯科矯正学

訓練名 : 補綴、保存歯科および歯科矯正学における歯科技術

直接目標 : 訓練により研修生は臨床家の正確な指導下、歯科補綴、保存を含む全ての型の最新removable functional appliances, fixed appliance componentsを製作できる。

実施予定地 : ペラデニヤ

期間 : 12ヶ月

教材 :

FDS / UP投入機材

プログラム要約

上位目標

歯科矯正、保存、補綴学患者への医療サービスが質、量的に向上する。
歯科矯正学および他学科歯科技工士の理論知識、技工室技術が向上する。



直接目標

矯正歯科においてremoval functional and fixed appliance 技術に使われる器具の知識が向上する。
各appliance作製における矯正歯科技術者のlaboratory skillが向上する。
全ての技術者の理論的、およびlaboratory skillが向上する。



成果（訓練結果）

1.

removal fixed and functional appliance の基本原理の理解する。
2.

処方解釈および各型applianceの作製できる。
3.

矯正歯科技工室 全ての手具の保管能力を習得する。
4.

補綴歯科、保存歯科技術者の他の技術の開発

プログラム番号 : SL: 11-1-1999 DEANS OFF.

部門 : 学部長室

訓練名 : 歯科看護、衛生士サービス

直接目標 : トレーニングにより研修生は臨床設備を十分取り扱うことができる。

実施予定地 : ペラデニヤ

期間 : 6ヶ月

研修生 :

教材 :

FDS/UP投入機材 :

プログラム要約

上位目標

新歯学部および病院における歯科看護、衛生士サービスが最高水準で機能する。



直接目標

臨床設備の効率的な取り扱いのできる歯科手術助手、衛生士を訓練する。



成果 (訓練結果)

1. 歯科用チェア、ユニットの整備方針を理解する。
2. 歯科機材、器具の日常整備、使用能力を習得する。
3. 消毒の実践
4. four handed dentistryの技術を習得する。
5. 患者の記録および予約記録保管に関して訓練する。
6. 歯科衛生士の実践的技術を習得する。

追加情報 :

プログラム番号: SL: 12-1-1999 D.ANAT.,

部門 : 口腔解剖学

訓練名 : 口腔軟、硬組織におけるteaching materialsの開発

直接目標 : 研修者は口腔軟、硬組織および骨の光学顕微鏡用スライド調製の高水準の技術を得る。

実施予定地 : スリランカ

期間 : 6ヶ月

研修者 : 教官、技術職員

指導者 : 口腔解剖学専門家

FDS/UP投入機材 : 硬組織マイクロームシステム

プログラム要約

上位目標

口腔解剖学の訓練プログラムのレベルが向上する。



直接目標

構造と骨に関連した口腔硬、軟組織の光学顕微鏡用スライド調製の高水準の技術を習得する。



成果 (訓練結果)

1. 口腔硬、軟組織および骨に関する詳細な知識を習得する。
2. 硬組織マイクロームシステムの取り扱い保管能力を習得する。
3. 歯科硬、軟組織顕微鏡スライド調製の高水準の技術を獲得する。

プログラム番号：SL：13-1-1999 PERIO.

部門： 歯周病学

訓練名： 歯周疾患の治療の向上

訓練により研修生は

1. 歯周疾患の診断能力が向上する。
- 2.a. 診断用器具の使用方法を習得する。
 - b. 血液、歯肉溝液 等 検査室診断試料の収集ができるようになる。
crevicular fluid

実施予定地： ペラデニヤ

期間： 12ヶ月

研修者： 教官

教材： 臨床トレーニング

FDS/UP 投入機材：

- I 歯科テスト - 歯周疾患病原菌検出器 - Micro probe corp- U.S.A.
- II Florida probe (automated probe- florida probe corp. USA)
- III ELISA Reader

プログラム要約
上位目標

歯周疾患診断能力が向上する。



歯周病の処置、治療、および再検査のレベルが向上する。



1. 歯周病診断用、事務所、検査室の補助器具に精通する。
2. 歯周病診断のための臨床検査を行うことができる。
3. 歯周病診断のためのX線検査能力を習得する。
4. 患者から収集した情報や歯周病を診断するための実験室検査を分析、総合できる。
5. 歯周病の外科的処置技術を習得する。

プログラム番号 : SL: 14-1-1999 ORTHO.
部門 : 歯科矯正学
訓練名 : 機能的矯正装置を使用した不正咬合患者の管理
直接目標 : 若年患者の不正咬合用に機能的矯正装置が使用できる。
実施予定地 : ペラデニヤ
期間 : 6-9ヶ月
研修者 :
教材 :
FDS/UP投入機材 :

プログラム要約
上位目標

skeletal 不正咬合若年患者の歯科矯正治療のレベルが向上する。

↑
直接目標

functional 矯正装置の使用に関する歯科矯正学の理論的知識と臨床技術を習得する。

↑
成果 (訓練結果)

1. functional矯正装置の使用に関する理論的知識を習得する。
2. 咬合位の記録、矯正装置の製作技術を習得する。
3. 治療のmonitoring progress能力の習得

プログラム番号 : SL:15-1-1999 COMM.DENT.
 部門 : 歯科公衆衛生学
 訓練名 : コンピュータ、統計および研究方法論
 直接目標 : トレーニングによりコンピュータや統計学方法論を使用し、卒前、
 卒後訓練プログラムを計画する。
 実施予定地 : ペラデニヤ
 期間 : 2-6ヶ月
 指導者 : コンピュータや医学的統計の適切な日本人専門家
 教材 : 指導者が決定
 FDS/UP機材投入 : 付録参照

プログラム要約
 上位目標

歯学部におけるコンピュータ使用、医学的統計、疫学的研究方法論の
 訓練が向上する。



直接目標

歯科公衆衛生学の教官がコンピュータ使用、医学的統計学、研究方法論に
 関するコースを行うために新しい設備が使用できる。



成果 (訓練結果)

- | | | |
|--------------------------|-------------------------|----------------------|
| 1. コンピュータ使用訓練プログラムを計画する。 | 2. 医学的統計学の訓練プログラムを計画する。 | 3. 疫学的調査方法論の知識を習得する。 |
|--------------------------|-------------------------|----------------------|

追加情報 : (付録参照)

コンピュータや医学的統計学に関する専門知識を持った日本人指導者が医学および歯学教育を受けていることが望ましい。

プログラム1、プログラム2への投入機材

1. テレビモニター、ビデオ録画機
2. 疫学に関する CR-ROM resource materailやinformatics packages 等、上級コンピュータソフト
3. 訓練用35mm映写スライド作製のためのコンピュータカメラ付属部品
4. グループ訓練のための映写用大型スクリーン設備付きコンピュータ
5. 疫学的検査用の歯周ポケット深度and loss of attachment の予測用コンピュータ自動装置

プログラム番号: SL:16-2-2000 MICRO.

部門 : 微生物学

訓練名 : 口腔微生物

直接目標 : 嫌気性口腔微生物学に関する効果的な訓練プログラムを実行することができる。サービスを向上させ、また微生物学教室の研究活動能力を強化する。

実施予定地 : ペラデニヤ

期間 : 6ヶ月

研修生 : 微生物学 全講師

教材 :

FDS/UP 投入機材 :

プログラム要約
上位目標

口腔微生物学における訓練能力の質が向上する。

直接目標

嫌気性口腔微生物について教育する。

成果 (訓練結果)

1. 特に歯科プラークについての嫌気性口腔微生物に関する総合的理論的知識の習得する。
2. 嫌気培養技術が熟達する。
3. 上級微生物学的診断技術を実践する。
4. 微生物研究室における機材管理を訓練する。

プログラム番号：SL：17-2-2000 O. PATH.

部門：口腔病理学

訓練名：免疫組織化学および日常診断

直接目標：訓練後研修生はペラデニヤ大学歯学部で医療サービスや研究活動のために免疫組織化学的検査を实践できる。

実施予定地：ペラデニヤ

期間：12ヶ月

研修者：

指導者：免疫組織化学および日常診断を専門とする日本人病理学者

教材：基本キット

FDS/UP投入機材：無償資金で使用可能な基本的機材。実施時に2-3品目が必要。
マイクロラジオグラフィ装置

プログラム要約

上位目標

口腔免疫組織化学診断指標が質、量的に向上する。



直接目標

歯学部における医療サービス、研究活動のための免疫組織化学技術を習得する。



成果（訓練結果）

1. 免疫組織化学のための十分に機能的な研究室を設立する。
2. 全ての教官（4名）技術者（3名）が免疫組織学について訓練を受ける。
3. 低温槽切片調整の技術を全スタッフが熟達する。
4. 口腔病理学教室において品質管理が機能的に行われる。

追加情報：

日本人口腔病理派遣専門家は訓練用試料スライド調整等、一般病理に関連した成果を開発、計画してよい。

プログラム番号：SL:18-2-2000 RADIOL.

部門：口腔顎顔面放射線学

訓練名：口腔顎顔面放射線学

直接目標：訓練により研修生は放射線検査に熟達し、新歯学部病院における放射線科の効率的な運営に貢献できる。

実施予定地：ペラデニヤ

期間：6-9ヶ月

研修生：放射線技師、放射線科教官

指導者：口腔学顔面放射線技師

教材：

FDS/UP投入機材：

プログラム要約

上位目標

新歯学部病院におけるいろいろな診療科へ効果的で満足のいく放射線診断サービスを提供できる。



直接目標

放射線検査に熟達し、新歯学部病院の放射線科運営に貢献できる。



成果（訓練結果）

1. スタッフのX線透視検査を含む口腔顎顔面X線撮影技術を強化する。
2. より高レベルの放射線からの保護を実施する。
3. 高品質の放射線撮影確保が可能となる。
4. 時間や資源の無駄をなくし放射線科の効率的運営に貢献することができる。
X線写真の良い状態で保存でき、検索できる。

追加情報：訓練を受ける放射線技師は総合病院にて放射線技師として勤務した経験を持つ。

プログラム番号：SL: 19-2-2000 PAEDO.

部門：小児歯科

訓練名：精神的、医学的有病小児患者の管理
compromised

直接目標：訓練により精神的医学的にハンディを持つ子供を上手に効果的に管理する。

実施予定地：ペラデニヤ

教材：6-12ヶ月

研修生：小児歯科講師全員

教材：

FDS/UP 投入機材：

- 2 ポータブル デンタルチェア
- 2 ポータブルユニット
- 1 ブック型コンピュータ
- 1 障害児患者用デンタルチェア

プログラム要約
上位目標

精神的、内科学的にハンディのある小児患者のケアの質が向上する。



直接目標

精神的、内科的 有病小児患者の管理能力が向上する。



成果（訓練結果）

1. 特に精神的、内科的にハンディを持つ小児患者の行動管理の理論的知識を強化する。
2. 精神障害児の管理に関する概念と原則を習得する。
3. 内科学的にハンディを持つ小児の管理に関する概念原則を習得する。
4. 小児歯科診療所での精神的内科学的有病患者の実際の管理およびextention of such service into out reach programmes ???

追加情報

付録

追加情報

プログラム番号：SL：19-2-2000 PAEDO.

部門：小児歯科

訓練名：精神的内科学的有病小児の管理

プログラム番号：SL: 20-2-2000

FDS/UP投入機材：

数量	品目	型	メーカー
2	ポータブルデンタルチェア	基本タイプ	
2	ポータブルユニット	0800010	モリタ
1	障害児用デンタルチェア/ユニット	0800440	モリタ
1	ブック型コンピュータ、プリンタ		

プログラム番号：SL: 20-2-2000 PHARMO.

部門：薬理学

訓練名：（歯科）薬理学におけるカリキュラム開発

直接目標：訓練により、研修生は指導者と共に歯学部学生の現在の薬理学のカリキュラムとその実施を厳しく評価し、必要があれば適切に改善することができるようになる。

実施予定地：ペラデニヤ

期間：2-3ヶ月

研修生：薬理学（口腔内科学）

教材：

投入機材：なし

プログラム要約

上位目標

歯学部学生のための薬理学の訓練、学習方法のレベルが向上する。

直接目標

研修生は歯学部生のための薬理学のカリキュラムとその実施についてを厳しく評価することができる。

成果（訓練結果）

1. 歯学部学生用の薬理学の講義内容が向上する。
2. 薬理学の訓練、学習方法を改良する。
3. 学生成績の継続的な評価を実施する。
4. コースの修了時の学生成績を評価する。

追加情報：

（歯科）薬理学の経験のある資格を持つ教師で医学教育の経験と訓練を持っている者がふさわしい。

プログラム番号：SL：21-2-2000 DEANS OFF.

部門：学部長室

訓練名：医学用機材の使用と修理

直接目標：医学研究室用機材の使用と日常の修理ができるようになる。

実施予定地：ペラデニヤ

期間：6ヶ月

研修生：

教材：

FDS/UP投入機材

プログラム要約
上位目標

医学研究室機材が最高水準を維持して機能する。

直接目標

技術者に医学用研究室機材の管理と使用を訓練する。

成果（訓練結果）

1. 医学研究用機材の機械的電気電子的部品の理論的知識を習得する。
2. 医学研究用機材の回線図の機能を決定し説明する。
3. 医学研究用機材の欠陥を検出する適切な機器を選択する。
4. 医学研究用機材の日常修理を実行する。
5. 修理のため業者に送る必要のある医学研究用機材の主な欠陥を発見する。
6. 医学研究室用機材の maintenance proto?? の準備
7. 医学研究用機材の機械的電気電子的部品の理論的知識を習得する。

プログラム番号： SL：22-2-2001 PHYS.

部門：生理学

訓練名：生理学実習

直接目標：訓練により、生理学の実習訓練プログラムを再編成し、レベルを向上させることができる。

実施予定地：スリランカ

期間：12ヶ月

研修生：生理学教官（4名）、技術スタッフ（3名）

指導者：歯学部学生に対する訓練の経験を持つ生理学者

教材：

FDS/UP投入機材：Blood flow meter, 血液型用キット、色覚テストチャート（石原タイプ）、心肺蘇生術用模型（成人用）、診断用セット（ハロゲン）、血液学スライド染色、血球計、血色素計、mobile first aid station, Near Point Testing Rules, Peak Flow Meters, Perimeter- Stand Type, 嗅覚セット、Skinfold カリパス、Sports Ergo Treadmill, 尿比重計、ECG machine, ヘマトクリット遠心分離機

プログラム要約
上位目標

生理学訓練プログラムを強化する。



生理学における実習訓練プログラムのレベルを向上する。

成果（訓練結果）

1. 生理学実習用教材を開発する。
2. 効果的実習プログラムを設計し、実施する。
3. 医学研究用機材の使用、注意、管理知識と能力を習得する。
4. 研究室での安全性と応急手当ての習得する。

追加情報：生理学実習用に提案された項目

赤血球数測定；赤血球指標、白血球数測定；differential count、ESR赤血球沈降率；血液グループ、浸透圧せい弱性；ヘマトクリット；血漿蛋白、比重、血液凝固時間；

bleeding time、血液凝固影響因子；血圧測定；血流、心臓血管、に関する臨床検査、

動脈、静脈脈拍、心電図検査、心肺蘇生術、呼吸器臨床検査、呼吸器運動；酸素欠乏；二酸化炭素過剰、呼吸収集と分析、酸素消費量；基礎代謝率、呼吸機能検査；

Peak Flow Rate；肺活量、利尿；尿素比重、健康状態、Physiology of Exercise、

体温、Thermal Comfort, cranial 頭部神経の臨床検査、視力、聴力

プログラム番号： SL：23-2-2001 BIOCHEM.

部門：生化学

訓練名：生化学カリキュラムの開発

直接目標：訓練により生化学訓練プログラムのカリキュラムの開発ができるようになる。

実施予定地：ペラデニヤ

期間：12ヶ月

研修生：生化学教官（3名）技術スタッフ（1名）

指導者：歯学部生の訓練に経験のある生化学者

教材：

FDS/UP投入機材：

プログラム要約

上位目標

歯学部学生のために上級訓練法およびpractical preparationの方法を行う。



直接目標

歯学部学生に対する訓練方法およびpractical preparationの知識をさらに得ることができる。



成果（訓練結果）

1. 実験室機材、器具の使用、注意、保管を学習する。
2. 実験室での安全性と応急処置を学習する。
3. 生化学カリキュラムのレベルが向上する。
4. 効果的な実習プログラムを設計し実施する。

プログラム番号： SL：24-2-2001 REST.

部門：保存歯科

訓練名：歯内治療学の上級訓練、歯冠、ブリッジ、Operative Dentistry
および歯科理工学

直接目標：訓練により、上級保存歯科の医療サービス、訓練、研究活動のすべてが実践できるようになる。

実施予定地：ペラデニヤ

期間：6ヶ月

教材：歯内治療、歯冠、ブリッジ用資材、スライド、模型、
訓練用補助用具

FDS/UP投入機材：歯内治療用補助機材、研究用器具、拡大loops、超音波bathe
合金材料保存用小型冷蔵庫

プログラム要約

上位目標

保存歯科における患者医療、訓練が国際的水準に達成する。



直接目標

保存歯科スタッフの知識、カリキュラム、訓練、管理能力の向上



成果（訓練結果）

1. 上級歯内治療技術を習得する。
2. 上級歯冠、ブリッジ技術を習得する。
3. 歯科理工学の研究活動を開始する。
4. 患者ケア、訓練のレベルが向上する。
5. 研究プログラムの強化

追加情報：

研究志向型専門家がこの段階で必要となる。

プログラム番号 : SL: 25-2-2001 PROS.
 部門 : 歯科補綴学
 訓練名 : 歯科補綴学における上級訓練
 直接目標 : 訓練により、検査、治療計画、上級補綴の設計と製作ができるようになる。
 実施予定地 : ペラデニヤ
 期間 : 6ヶ月
 研修生 : 教官、技術者
 指導者 : 上級補綴専門家
 教材 : コバルトクロム合金、シリコン、osseo-integrated インプラント
 FDS/UP投入機材 :

プログラム要約
 上位目標

overdenture、閉鎖器等上級補綴を設計し製作する。



金属義歯、顎顔面補綴、インプラント義歯、また精密な付属品を用いてのoverdenture等を必要とする感謝の管理ができるようになる。



1. 顎顔面欠損患者の検査、評価に必要な能力を習得
2. 金属義歯、オーバーデンチャーの設計、製作技術、precision attachmentの使用能力を習得する。
3. 顎顔面補綴の設計、製作に必要な技術を習得する。
4. インプラントに際する患者の管理能力を習得する。

プログラム番号：SL:26-2-2001 O.SURG.

部門：口腔外科

訓練名：口唇口蓋裂患者の二次手術

直接目標：訓練により口唇口蓋裂患者の治療計画と二次的外科処置ができる。

実施予定地：ペラデニヤ

期間：6ヶ月

研修生：口腔外科スタッフおよびその他興味のある外科医
(口腔外科、耳鼻科、形成外科)

指導者：口唇口蓋裂患者の二次手術の専門家

教材：付録参照

FDS/UP投入機材：付録参照

プログラム要約

上位目標

口唇口蓋裂患者の外形、機能を改善する。

直接目標

口腔外科医は口唇口蓋裂患者の二次手術ができる。

成果（訓練結果）

1. 修復した口唇裂に対して口唇、鼻の二次的欠陥を診断する。
2. 修復した口蓋裂に対して軟、硬口蓋および歯槽における二次的欠陥を診断
3. 口唇、鼻における二次的な外科的修正を行う。
例；口唇修正、パーミ
リオンassymetry、
flattened外鼻孔、短鼻
柱 等
4. 口蓋裂に対する二次的な外科的修正を行う。
例口腔鼻腔フィステル、
歯槽骨移植片咽頭形成術

追加情報：付録参照

追加情報：

プログラム番号 : SL:26-2-2001 O.SURG.

部門：口腔外科

訓練名：口唇口蓋裂患者に対する二次的外科処置

教材：口唇口蓋裂患者に対する二次的処置に関するテキスト

FDS/UP投入教材：

数量	品目	カタログ番号
4	標準形成外科器具セット ケース付き	JMC 9-02806
4	標準形成外科器具セット ケース付き	JMC 9-02807
2	骨用トレフィン to harvest 骨移植片	

プログラム番号 : SL : 27-2-2001 GEN. PATH.
 部門 : 一般病理
 訓練名 : 分子生物学的診断技術の基礎
 直接目標 : 訓練により分子生物学的上級診断ができる。
 実施予定地 : ペラデニヤ
 期間 : 6ヶ月
 研修生 : 口腔および一般病理学教官、技術スタッフ
 教材 :
 FDS/UP投入教材 : As per General Pathology programme J: 20-3-2002
 G.PATH ??

プログラム要約
上位目標

高度な診断のための分子生物学研究室を確立する。



直接目標

分子生物学的技術を使用した研究室での活動のレベルが向上する。



成果（訓練結果）

1. 実験室機材を設置、機能させる。
2. 教官、技術スタッフは機材の取り扱い、日常管理を訓練する。
3. 分子生物学研究室で用いられる消耗品、化学薬品を備える。
4. 教官、技術スタッフの分子生物学の実践技術レベルを向上させる。

追加情報 :

プログラム番号： SL：28-3-2001 O.MED

部門：口腔内科

訓練名：口腔粘膜疾患の治療

直接目標：訓練により、潰瘍、前悪性の口腔粘膜疾患の近代的検査、および治療法を行うことができる。

実施予定地：ペラデニヤ

期間：1年

研修生：口腔内科臨床家

指導者：口腔粘膜疾患専門家

教材：化学的予防剤 レチノイド、トコフェロール等

FDS/UP投入機材：口腔粘膜用レーザー装置

プログラム要約

上位目標

新歯学部口腔粘膜患者の治療レベルが向上する。



直接目標

研修生は潰瘍、前悪性腫瘍口腔粘膜疾患の近代的検査、治療法を行うことができる。



成果（訓練結果）

1. 口腔粘膜疾患、特に潰瘍性、前悪性腫瘍疾患の最近の治療傾向を知る。
2. 分子生物学的レベルでの発ガンの近代的概念および前悪性腫瘍病変の化学予防的治療の理論および実践技術を習得する。
3. パンチ生検、血液学的および臨床化学的検査に必要な技術を習得する。
4. 口腔粘膜疾患のレーザー治療適応の原則、および臨床的技術の習得。

追加情報

指導者が口腔粘膜疾患に関連した、組織的、皮膚科的疾患の臨床像に経験のあることが望ましい。

systemic

付録

追加情報

プログラム番号：SL：28-3-2002 O. MED

部門：口腔内科

訓練名：口腔粘膜疾患の治療

FDS/UP投入機材：口腔粘膜疾患用レーザー装置

プログラム番号：SL: 29-3-2002 REST.

部門：歯科保存学

訓練名：歯科理工学

直接目標：研修生はカリキュラムの再編、訓練のレベル向上、研究活動ができる。

実施予定地：ペラデニヤ

期間：12ヶ月

研修生：歯科保存学 臨床医

指導者：歯科理工学専門家

教材：

FDS/UP投入機材：歯科理工学訓練用補助器具、機材

プログラム要約

上位目標

歯科理工学における訓練、研究活動が国際的水準へ達成する。



直接目標

歯科理工学の知識、カリキュラム、訓練、研究活動のレベルが向上する。



成果（訓練結果）

1. 歯科理工学の基礎知識を習得する。
2. カリキュラム改善を導入する。
3. 訓練技術のレベルが向上する。
4. 研究活動プログラムを開始する。

追加情報：

訓練用補助器具、機材および研究用器具が必要である。

プログラム番号 : SL : 30-3-2002 ANAT., D. ANAT.

部門 : 解剖学

訓練名 : 解剖学、口腔解剖学の訓練、研究活動のレベル向上

直接目標 : 訓練により、解剖学、口腔解剖学の訓練、研究活動レベル向上のために設備を最大限に活用することができるようになる。

実施予定地 : ペラデニヤ

期間 : 6ヶ月

研修生 : 解剖学、口腔解剖学教官 (8名)、技術スタッフ (4名)

教材 :

FDS/UP投入機材 :

プログラム要約

上位目標

解剖学、口腔解剖学における訓練、研究活動のレベルが向上する。



直接目標

解剖学、口腔解剖学の訓練、研究のため設備を最大限に活用できる。



成果 (訓練結果)

1. 解剖学、口腔解剖学の設備の管理が向上する。
2. 解剖学、口腔解剖学の訓練レベルが向上する。
3. 解剖学、口腔解剖学の研究活動のレベルが向上する。

プログラム番号：SL：31-3-2002 PAEDO.

部門：小児歯科

訓練名：歯の発達異常のある小児患者の治療

直接目標：訓練により、小児の歯の発達異常に関する治療技術、患者サービス研究能力等のレベルが向上する。

実施予定地：ペラデニヤ

期間：6ヶ月

研修生：小児歯科全講師

教材：訓練用スライド、教科書

FDS/UP投入機材：ブック型コンピュータ、プリンタ

プログラム要約

上位目標

歯の発達異常を持つ小児患者に関する訓練、患者ケアの質が向上する。



直接目標

歯の発達異常のある小児患者の治療技術を強化する。



成果（訓練結果）

1. 歯の発達異常に関する理論的知識を強化する。
2. 歯の発達異常治療の概念および原則を習得する。
3. 歯の発達異常患者の実際の治療を効果的に行う。
4. 歯の発達異常に関する研究活動能力を強化する。

プログラム番号 : SL : 32-3-2002 COMM.DENT.

部門 : 歯科公衆衛生学

訓練名 : 疫学

直接目標 : 訓練により、スリランカにおける疫学調査の計画、実施ができるようになり、現在の口腔保健問題の答えを見つけることができる。

実施予定地 : ペラデニヤ

期間 : 6ヶ月

研修生 : 歯科公衆衛生学スタッフ

教材 : ペラデニヤに派遣される日本人指導者により決定

FDS/UP投入機材 : 付録、プログラム CD01、CD02 用リスト

プログラム要約

上位目標

疫学的現地調査の担当スタッフを訓練し、研究能力を強化する。



直接目標

適切な日本人専門家の協力のもと担当疫学調査の計画と実施ができるようになる。



成果 (訓練結果)

1. 現地研究活動の発案、実施能力を強化する。
2. スリランカの口腔保健に直結する重要な研究問題の答えを見つける。
3. 歯科公衆衛生に関する研究のための国際協力 (スリランカ-日本) を促進する。

追加情報 :

指導者は経験のある日本人疫学者であること。 : このプログラムの中には歯学部内の研究協力により行われるものもある。

プログラム番号 : SL : 33-3-2002 DEANS OFF.
 部門 : 学部長室
 訓練名 : 歯科看護、衛生士サービス
 直接目標 : 訓練により、臨床用設備を能率的に運営できるようになる。
 実施予定地 : ペラデニヤ
 期間 : 6ヶ月
 研修生 :
 教材 :
 FDS/UP投入機材 :

プログラム要約
上位目標

新歯学部、病院において歯科看護、衛生士サービスが最高の水準で機能する。



能率的な臨床設備運営に関して、Oral Surgery助手、衛生士を訓練する。



1. デンタルチェア、ユニット管理の原理を理解する。
2. 歯科用機材、器具の日常の管理、手入れの技術を習得する。
3. 滅菌消毒を実施する。
4. four handed dentistry の技術を習得する。
5. 患者記録、予約管理を訓練する。
6. 歯科衛生士の実践業務技術を習得する。

日 本 における
訓 練 プ ロ グ ラ ム

J : 1 - 1 - 1998 - PROSTH.

国名	プログラム 番号	フェーズ	年	学科
----	-------------	------	---	----

プログラム番号 : J: 0 1997 DEANS OFF.
 部門 : 学部長室
 訓練名 : 歯科機材の使用と修理
 service & Repair
 直接目標 : 訓練後、研修生はデンタルチェア、ユニット等、歯科機材
 を使用し、点検と日常の修理ができるようになる。
 実施予定地 : 日本
 期間 : 6ヶ月
 研修生 : Mr. H.P.Dharmasena
 教材 : 歯科機材整備についてのテキスト
 FDS およびUPへの設備投入 (添付ページ参照)

プログラムの要約
 上位目標

新歯学部、病院においてデンタルチェア、ユニット等、歯科機材を
 最高水準で機能するように維持する。



デンタルチェア、ユニット等、基本的な歯科機材の整備、点検を技術者に訓練する。



- | | | |
|---|-----------------------------------|--|
| 1. チェア、ユニット等、歯科機材の機械的、電気電子的部品の理論的知識を得る。 | 2. デンタルチェア、ユニット等歯科機材の回線図の機能を理解する。 | 3. デンタルチェア、ユニット等歯科機材の欠陥を検出する適切な器具を決められる。 |
| 4. デンタルチェア、ユニット等歯科機材の修理が日常業務として実行できる。 | 5. 業者による修理が必要な歯科機材の大きな欠陥を指摘できる。 | 6. デンタルチェア、ユニット等歯科機材の西部計画を作成する。 |
| 7. デンタルチェア、ユニット等歯科機材の整備記録を作製する。 | | |

プログラム番号 : J: 1-1-1998 PROS.
部門 : 歯科補綴学
訓練名 : 最新の歯科補綴学
直接目標 : 診察、治療計画、および上級補綴の設計、製作ができる。
実施予定地 : 日本
期間 : 12ヶ月
指導者 : 上級補綴、日本人専門家
研修生 : Dr.T.Amandamoorthy, 歯科補綴学講師
教材 : コバルトクロム合金、シリコン、osseo-integrated implants
FDP / UPへの機材投入

プロジェクト要約
上位目標

上級補綴を設計し製作する。



直接目標

金属義歯、顎顔面補綴、インプラント義歯を必要とする患者を管理できる。



成果（訓練結果）

1. 顎顔面欠損患者の診察診断能力を習得する。
2. 金属義歯の設計、製作 deliveryの技術を習得する。
3. 顎顔面補綴の設計、製作 deliveryの技術を習得する。
4. インプラント患者の管理能力を習得する。

プログラム番号： J：2-1-1998 O.SURG.

部門： 口腔外科

訓練名： 顎顔面欠損と言語リハビリ

直接目標： 口蓋裂の言語リハビリを含む、歯、顔面変形の診断、治療計画、外科的処置を行なえるようになる。

実施予定地： 日本

期間： 6-9ヶ月

指導者： 歯科顔面変形／口唇口蓋裂の外科治療および言語療法における日本人専門家

研修生： Dr.J.U.Weerasinghe, 口腔外科講師

教材： (付録参照)

FDS/UPへの投入機材： (付録参照)

プログラム要約
上位目標

スリランカにおける歯科、顔面変形の治療計画、外科的処置のレベルが向上する。



口唇口蓋裂の言語リハビリを含む歯科顔面変形の診断、治療計画、外科処置に関する知識と技術を習得する。



1. 頬顎異常矯正手術に関する高度な検査やコンピュータ化した技術を使つての最新の診断、治療計画法を理解する。
2. 歯科顔面変形の矯正に最新の頬顎顔面矯正手術治療を実施できる。
3. 口唇口蓋裂の言語リハビリが実施できる。
4. スリランカにおける頬顎異常矯正手術、言語リハビリの訓練プログラムを開発する。

追加情報

付録

追加情報：

プログラム番号：J：2-1-1998 O.SURG.

Division： 口腔外科

訓練名： 顎顔面欠損と言語リハビリ

教 材

顎顔面異常矯正手術の方針と実践に関するテキスト

The development and disorders of speech in childhood

Morlex ME, Edingurgh, Livingstone

The Disorders of speech Wullie J, Oliver & Boyd

Rehabilitation of Speech West. Kennedy & Carr, London, harpar

Congenital anomalies of face and associated structures

Springfield, Charles C. Thomas

Surgical Correction of dentofacial deformities

WH Bell, WR Profit, RP Whitte, 2 volume set, ISBN0-7216-1617-2

Reconstructive plastic surgery

Converse JM, Horowitz SC, Word-Smith D, Philadelphia, WB Saunders

顎顔面異常矯正手術診断および治療計画技術についてのコンピュータソフト

顎顔面異常矯正手術と言語リハビリについての視聴覚教材

機 材

1. 無償式プロジェクトにより入手した外科訓練用付属品

	付属品目	数量
GB 200	前後ギア付きハンドピース	1
GB 223	前後ギア付きハンドピース	1
GB 129	のこぎりハンドピース	1
GB 130	のこぎりハンドピース	1
GA 176	柔軟ケーブル	1
GA 173	柔軟ケーブル	1

2. 件各地における言語リハビリ診療所運営用機材

1. ブック型コンピュータPentium

2. 24 pin DOT Matrix プリンタ

プログラム番号 : J : 3-1-1998 O.PATH., G.PATH.

部門 : 口腔病理、一般病理

訓練名 : 口腔病理、一般病理歯科研究技術者

直接目標 : 訓練により研修生は新歯学部において口腔病理、その他の
スタッフの診断、研究活動を手伝うことができる。

実施予定地 : 日本

期間 : 6ヶ月

研修生 : Mr.A.K.Suraweera

訓練教材 : 消耗品2-3品目

FDS/UP への投入機材 : なし

プログラム要約

上位目標

最新技術を導入した口腔病理技術スタッフの能力を育成する。



直接目標

免疫組織化学における診断、研究に関し、口腔病理およびその他歯学部スタッフ
を手伝うことができる。



成果 (訓練結果)

1. 最新免疫組織化学研究室の管理に関する訓練をする。
2. 免疫組織化学研究に必要な化学薬品や消耗品を熟知する。
3. 抗体の希釈度を決定し実験用の希釈溶液を調製する。
4. Master the handling of the two staff and three staff ?? immunohistochemical procedure.
5. (+),(-) controls for internal and external quality assurance.
6. 教室の全ての活動にかかわっていく。

追加情報 :

この訓練は H&E法をマスターした経験のある技術者を対象としたものである。
帰国後免疫組織学教室で常勤する。

プログラム番号 : J:4-1-1998 COMM.DENT.

部門 : 歯科公衆衛生学

訓練名 : 歯科公衆衛生学

直接目標 : 訓練により上級疫学、研究方法論、医学統計、コンピュータデータ処理における卒前、卒後教育およびスタッフ訓練を行なえるようになる。

実施予定地 : 日本

期間 : 10-12ヶ月

研修生 : Dr.Ms.Lilani Ekanayake 歯科公衆衛生講師

教材 : 指導者により決定

FDS/UP投入機材 : 付録リスト参照

プログラム要約

上位目標

歯学部における研究方法論、統計、コンピュータデータ処理等、医学疫学教育のレベルが向上する。



直接目標

スタッフは研究方法論、統計、コンピュータの使用を熟知し、有能な疫学者となる。



成果（訓練結果）

1. 医学的疫学知識を強化する。
2. コンピュータの使用法を熟知する。
3. 統計学的方法の使用と教育能力が向上する。
4. 研究方法論の教育と適応力を開発する。

追加情報 :

研修生は在学、卒業生両者対象の適切なコースを開発するため、習得した訓練を生かしていく。上級スタッフとして研修生はスタッフの訓練のため、責任をもって積極的に指導的役割を演じていく。

追加情報：

プログラム番号：J:4-1-1998 COMM.DENT.

部門： 歯科公衆衛生学

訓練名： 歯科公衆衛生学

投入機材：

1. テレビモニター、ビデオ録画、再生機
2. 疫学に関する CR-ROM resource materailやinformatics packages 等、上級コンピュータソフト
3. マルチメディア映写機対応コンピュータシステム
4. 疫学調査用の歯周ポケット深度および loss of attachment の予測用コンピュータ自動装置
例 フロリダProbe
5. 訓練スライド35mm映写機用コンピュータカメラ付属品

プログラム番号 : J: 5-1-1998 REST.

部門 : 歯科保存学

訓練名 : 上級保存歯科 (歯冠、ブリッジ製作)

訓練目的 : 訓練により研修生上級歯科技工室で歯冠、ブリッジを製作できる。

実施予定地 : 日本

期間 : 6-9ヶ月

研修生 : Dr.K.A.Wettasinghe、保存歯科講師

指導者 : 歯冠、ブリッジの専門家

教材 : 歯冠、ブリッジ用資材 (casting金属、陶材、Sundry)

FDS/UP投入機材 : 3 咬合器

プログラム要約

上位目標

保存歯科における陶材歯冠、ブリッジ製作の訓練と供給が向上する。

provision

直接目標

ペラデニヤ大学歯学部において歯冠、ブリッジが医療サービス、訓練用に製作できる。

成果 (訓練結果)

1. 歯冠、ブリッジの製作の理論的知識を強化する。
2. 歯冠、ブリッジ製作の基本的な技工室での技術をマスターする。
3. 歯冠、ブリッジ製作における臨床的技術を強化する。
4. 技工室運営、訓練、研究に関する知識習得する。
- 5.

追加情報 : このプログラムは大変優先順位が高く、上級保存歯科が機能するために必須である。

プログラム番号 : J: 21-1-1998 DEANS OFF.

部門 : 学部長室
訓練名 : 歯科看護
訓練目的 : 研修生は中央消毒室の手順、four handedn dentistryの
日常業務、看護婦の総括的運営ができる。
実施予定地 : 日本
期間 : 6-9ヶ月
指導者 :
研修生 : 上級看護スタッフ
教材 :
FDS/UP投入機材 :

プログラム要約

上位目標

歯学部上級看護スタッフの運営能力を開発する。

直接目標

中央消毒室、日常 four handed dentistry, 看護婦の運営に関するサービス訓練を行う。

成果 (訓練結果)

1. 中央消毒室運営能力を習得する。
2. four handed dentistryの技術を習得する。
3. 総括的看護運営能力を習得する。

追加情報 :

プログラム番号 : J: 6-1-1999 PEDO.

部門 : 小児歯科

訓練名 : space maintenance技術とステンレス製歯冠

訓練目的 : 研修生のspace maintenanceおよびステンレス製歯冠製作供給に関する患者医療サービスの教育とその向上。

実施予定地 : 日本

期間 : 6-9ヶ月

研修生 : Dr.R.L.Wijeyeweera, 小児歯科、講師

教材 :

FDS/UPへの投入機材 :

プログラム要約

上位目標

咬合位の維持とリハビリに関する患者ケアの質が向上する。

直接目標

ステンレス歯冠のpreparationと適切な設置等、space maintenance技術が向上する。

成果 (訓練結果)

1. 歯の年齢順発達、萌出、交換の理論的知識を強化する。
2. 歯列弓空隙 maintenance およびその回復に関する概念と基本原理を習得。
3. ステンレス歯冠を受ける乳歯のprepareに関する概念と基本原理を習得する。
4. 設計、製作および設置用空隙の維持と回復に関する技術を習得し、実習訓練する。
5. ステンレス歯冠を受ける乳歯のprepareに関する技術を習得し、実習訓練を行う。

プログラム番号 : J : 7-1-1999 PHYS.

部門 : 生理学

訓練名 : 口腔生理学訓練

訓練目的 : 研修生は訓練により口腔生理学の在學生用プログラムを再編成改良することができ、また口腔生理学の新しく卒業生用継続教育を紹介することができる。

実施予定地 : 日本

期間 : 6-9ヶ月

研修生 : Dr.A.J.Pitigala Arachchi 生理学講師

指導者 : 口腔生理学の専門家教官

教材 :

FDS/UP投入機材 : 顎力測定計、だ液collection装置

プログラム要約

上位目標

口腔生理学の訓練のレベルが向上する。



直接目標

現在の口腔生理学の訓練プログラムのレベルが向上し、卒業生用新プログラムを導入する。



成果

1. 口腔生理学の理論的知識を習得する。
2. 口腔生理学における生理学機能テストをマスターする。
3. 日本の歯科大学での口腔生理学の訓練を習熟する。
4. 現在の口腔生理学訓練プログラムのレベルが向上する。
5. 訓練プログラムの運営能力を習得する。

追加情報 :

このプログラムでは特に唾液腺の生理機能およびその管理技術に重点をおいている。

??? management skill

プログラム番号：J :8-1-1999 O.MED

部門：口腔内科
訓練名：血液学的、生化学的実験室技術
直接目標：訓練後、研修生は新実験室にて血液学的、生化学的検査を行うことができる。
実施予定地：日本
期間：1年
研修生：Miss Shanaz Cuncheer, 口腔内科
指導者：血液および生化学的検査における専門家
教材：血清鉄、TIBC、葉酸赤血球/血清ビタミンB12、血液分析用希釈液、シリカゲルキュベット
FDS/UP投入機材：（付録参照）
水銀分析器
HCP-1 screen copy プリンタ（カタログNo. 206-62192）
RS-232 ケーブル（タイプ2）（カタログNo. 200 86408）
centronics 接続器（カタログNo. 206-14852-01）
接続用ケーブル（カタログNo. 200-91536-15）

プログラム要約

上位目標

口腔内科実験室機材の効率的な使用とその管理

直接目標

新実験室にて血液学的、生化学的検査ができるようになる。

成果（訓練結果）

1. 管理グラフの準備等、実験室機材、器具の使用や整備の一般原則を学習する。
2. 検査技術の基礎理論と実験室検査の質の管理原則を学習する。
3. 実験室の主な機材の使用、管理の特別知識を習得する。
4. 水銀分析法による尿中水銀濃度の測定ができる。

追加情報：成果3の機材品目は：1. 島津UV1201 単光分光光度計、2. Sysmex F-820 血液分析器、3. 写真器対応双眼顕微鏡 この単光分光光度計はこの訓練プログラムで要請した比較的安価な付属品により水銀濃度測定に利用することができる。

付録
追加情報

プログラム番号 : J:8-1-1999 O.MED

Division : 口腔内科

訓練名 : 血液学的、生化学的実験室技術

機材リスト

水銀分析装置 (島津 UV-120 V使用)

HCP-1 screen copy プリンタ

(島津 カタログNo. 206-62192)

RS-232 ケーブル (タイプ2)

(島津 カタログNo. 200 86408)

centronics 接続器

(島津 カタログNo. 206-14852-01)

接続用ケーブル

(島津 カタログNo. 200-91536-15)

プログラム番号 : J : 22-1-1999 O.SURG.
 部門 : 口腔外科
 訓練名 : 病院看護訓練
 直接目標 : 訓練により研修生は手術室、集中治療室、中央消毒室で機能的に職務を果たすことができる。
 実施候補地 : 日本
 期間 : 6-9ヶ月
 研修生 : 手術室、集中治療室、中央消毒室の看護スタッフ (01)
 指導者 : 手術室、集中治療室、中央消毒室の運営の日本人専門家
 教材 : 心肺蘇生術用、挿管用 (成人、小児用) マネキン
 FDS/UP投入機材 :

プログラム要約
 上位目標

口腔外科での手術室、集中治療室、中央消毒室の運営の水準が向上する。



直接目標

手術室、集中治療室、中央消毒室において看護スタッフが十分に職務を果たす。



成果 (訓練結果)

1. 手術室、集中治療室、中央消毒室の機能を理解する。
2. 手術室、集中治療室、中央消毒室で行われている無菌技術を理解する。
3. 特殊機材の保管、使用、整備を理解する。
4. 手術室、集中治療室、中央消毒室におけるスタッフの管理について理解する。

追加情報 :

プログラム番号 : J : 9-2-2000 ANAT.

部門 : 解剖学

訓練名 : 歯学部学生のための神経解剖学および発生学

直接目標 : 研修生は特に歯学部生を対象にした神経解剖学、発生学の訓練プログラムのレベルを向上することができる。

実施予定地 : 日本

期間 : 6-9ヶ月

研修生 : Dr.P.Samaraweera

指導者 : 神経解剖学、発生学の熟練教官

教材 : 神経解剖学の解剖模型

FDS / UP投入機材

プログラム要約

上位目標

歯学部学生のための神経解剖学、発生学の訓練プログラムのレベルを向上する。

直接目標

神経解剖学、発生学の訓練プログラムが特に歯学部生を対象に行われる。

成果（訓練結果）

1. 日本で神経解剖学、発生学の訓練プログラムに参加する。
2. 特に顎顔面神経解剖学発生学訓練プログラムを習熟する。
3. 解剖学、組織学、病理学的、および臨床的 ???
Practicals with anatomical histological pathological & clinical materials are organized.

追加情報 :

プログラム番号 : J: 10-2-2000 PERIO.

部門 : 歯周療法学

訓練名 : 上級歯周療法

訓練目的 : 訓練により研修生は組織再生技術を用いてうまく治療を行うことができる。

実施予定地 : 日本

期間 : 9ヶ月

研修生 : Dr.Ananda Chandrasekera 講師

教材 : 患者、models

FDS/UP投入機材 :

プログラム要約

上位目標

歯周疾患、および欠陥の治療レベルが向上する。



直接目標

進行した歯周病患者の組織再生術による治療のレベルが向上する。



成果 (訓練結果)

1. 適切な組織再生術の選択能力を習得する。
2. 特定患者に対してguided tissue regeneration procedureが行われる。
3. 骨移植が行われる。
4. 再検討、評価が行われ、治療方法を開発する。

追加情報 :

プログラム番号: J : 11-2-2000 DEAN'S OFF.

部門 : 学部長室
訓練名 : 歯科看護
訓練目的 : 訓練により中央消毒室、four handed dentistry and 看護婦の総合的な管理ができる。
実施予定地 : 日本
期間 : 6-9ヶ月
研修者 : 上級看護スタッフ
教材 :
FDS/UP投入機材 :

プログラム要約

上位目標

歯学部における上級看護スタッフの管理能力の開発

直接目標

中央消毒室、Routine four handed dentistry および看護婦の総合的な管理に関する研修を行う。

成果 (訓練結果)

1. デンタルチェア/ユニットの基本的な整備について理解する。
2. 歯科機材、器具の日常業務における整備および使用能力を習得する。
3. 滅菌や中央消毒室における処置が実施できる。
4. four handed dentistryの技術を習得する。
5. 患者記録、予約の管理に関する訓練を習得する。

追加情報 :

プログラム番号：J：12-2-2000 ORTHO.

部門： 歯科矯正学

訓練名： 歯、顔面変形症の頭蓋計測、歯科矯正学治療および頭蓋計測法

訓練目的： 訓練により研修生は口唇口蓋裂や、頬顎異常矯正手術を受ける患者の顔面外観のためにX線頭蓋計測の使用等、最新頭蓋計測法を実施できるようになる。

実施場所： 日本

期間： 6-9ヶ月

研修者： Dr.K.A.Kalyanarame

教材：

FDS/UP 投入機材： Digitaizer with a plotter

プログラム要約

上位目標

診断および治療計画のレベルが向上する。



直接目標

歯、顔面変形症患者の治療に関するX線頭蓋計測法等の技術を強化する。



成果（訓練結果）

1. 頭蓋計測法の理論を習得する。
2. X線頭蓋計測法による分析能力、その解釈能力を開発する。
3. 治療計画能力およびvisualized treatment objectivesを習得する。
4. 顔面発達に対するcleftingの影響に関する理論的知識を習得する。
術前術後歯科矯正技術を習得する。
5. 複数の専門分野にわたるチームの一員として活動する能力を開発。
6. 口唇口蓋裂および頬顎異常矯正手術、術前術後治療計画能力を習得する。

プログラム番号 : J: 23-2-2000 REST., PROS., ORTHO.

部門 : 歯科保存、補綴、矯正学

訓練名 : 歯科技工士

訓練目的 : 訓練により陶材歯冠、ブリッジ、金属部分義歯、obturators、顔面補綴その他すべての歯科矯正装置の製作ができる。

実施予定地 : 日本

期間 : 6-9月

研修者 : 保存、補綴、もしくは歯科矯正学教室から1名選出

教材 :

FDS/UP投入機材 :

プログラム要約

上位目標

歯科技工室における上級補綴、保存歯科、および歯科矯正技術のレベルが向上する。



直接目標

陶材歯冠、ブリッジ、金属部分義歯、顔面補綴、および矯正歯科装置を製作する。



成果（訓練結果）

1. 歯冠、ブリッジの製作能力を習得する。
2. 金属義歯の製作能力を習得する。
3. 顔面補綴の製作能力を習得する。
4. 金属およびアクリルspintsの製作能力を習得する。
5. 矯正歯科装置の製作能力を習得する。

プログラム番号 : J : 13-2-2001 D.ANAT.

部門 : 口腔解剖学
訓練名 : 歯科硬軟組織に関する訓練のレベル向上
訓練目的 : 現在の口腔解剖学の訓練プログラムを強化していくことができる。
実施予定地 : 日本
期間 : 9ヶ月
研修生 : 教官
指導者 : 口腔解剖学の経験のある教官
教材 :
FDS/UP機材投入 :

プログラム要約

上位目標

口腔解剖学の訓練プログラムのレベルが向上する。

直接目標

口腔解剖学訓練プログラムの最新情報、研究活動等あらゆる面の知識を深める。

成果（訓練結果）

1. 口腔解剖学のあらゆる高等理論を習得する。
2. 電子顕微鏡に熟知する。
3. 教材を準備する能力を習得する。

追加情報 :

プログラム番号: J : 14-2-2001 REST., PROS., ORTHO.

部門 : 歯科保存、補綴、矯正学

訓練名 : 歯科技工士

直接目標 : 訓練により陶材歯冠、ブリッジ、金属部分義歯、obturators, 顔面補綴および全ての歯科矯正装置を製作できる。

実施予定地 : 日本

期間 : 6-9ヶ月

研修生 : 保存歯科、補綴歯科、歯科矯正学から2名が選出

教材 :

FDS/UP 投入機材 :

プログラム要約

上位目標

歯科技工室での上級補綴技術、保存歯科技術および歯科矯正技術のレベルが向上する。



直接目標

陶材歯冠、ブリッジ、金属部分義歯、顔面補綴歯科矯正装置を製作する。



成果 (訓練結果)

1. 歯冠、ブリッジの製作能力を習得する。
2. 金属義歯の製作能力を習得する。
3. 顔面補綴の製作能力を習得する。
4. 金属およびアクリルsplints製作能力を習得する。
5. 矯正歯科装置の製作能力を習得する。

プログラム番号 : J : 15-2-2000 BASIC SCI.

部門 : 基礎科学

訓練名 : 基礎科学実験室運営

訓練目的 : 訓練後研修生は効率的、効果的に基礎科学実験室を訓練、医療サービス、研究のため運営していくことができる。

実施予定地 : 日本

期間 : 9ヶ月

指導者 : 基礎科学の熟練技術者

教材 :

FDS/UP投入機材 :

プログラム要約

上位目標

基礎科学実験室の訓練、医療サービス、研究のための機能が向上する。

直接目標

基礎科学実験室が訓練、医療サービス、研究のため効果的効率的に運営される。

成果（訓練結果）

1. 基礎科学実験室の基本的運営をマスターする。
2. 基礎科学実験室機材の使用、ケア、保管に関して熟知する。
3. 在庫および保管のためのコンピュータ能力を身につける。
4. 実験室の安全性と救急処置方法をマスターする。

追加情報 :

基礎科学実験室とは生理学、組織学、生化学実験室、死体保管場所、肉眼的解剖用設備をいう。

プログラム番号 : J :16-2-2001 RADIOL.

部門 : 口腔顎顔面放射線学

訓練名 : 口腔顎顔面放射線学

訓練目的 : 訓練により研修生は口腔顎顔面放射線学に関する十分な知識と技術を持ち、放射線学教室を効率的に運営することができる。

実施予定地 : 日本

期間 : 12ヶ月

研修生 : Dr.M.A.M.Sitheequ, 講師

指導者 : 口腔学顔面放射線技師

教材 :

FDS/UP投入機材 :

プログラム要約

上位目標

新歯学部病院において高い水準の顎顔面放射線医療サービスおよび訓練を供給する。



直接目標

訓練により研修生は口腔顎顔面放射線学に関する十分な知識と技術を持ち、放射線学教室を効率的に運営することができる。



成果 (訓練結果)

1. 最新放射線学教室の管理や効率的な運営を知る。
2. 口腔顎顔面放射線適応の放射線学の基本方針の理論を強化する。
3. 顎関節arthography, X線透視検査等特殊技術を習得する。
4. 日本の歯学部におけるカリキュラムや訓練方法を経験する。
5. 口腔顎顔面放射線学のCTやMRIを含む口腔顎顔面放射線検査すべてにおいて放射線学的異常を認識する能力を高める。

追加情報 : CTはキャンディ総合病院放射線科を通して使用できる。

プログラム番号：J: 24-2-2001 REST.,PROS.,ORTHO.

部門： 歯科保存、補綴、矯正学
訓練名： 歯科技工士
直接目標： 訓練により陶材歯冠、ブリッジ、部分金属義歯、obturators
顔面補綴その他すべての歯科矯正装置を製作できる。
実施予定地： 日本
教材： 6-9ヶ月
研修生： 保存、補綴、歯科矯正学より3名が選出
教材：
FDS/UP 投入機材：

プログラム要約
上位目標

歯科技工室での上級補綴技術、保存歯科技術および歯科矯正技術のレベルが向上する。



直接目標

陶材歯冠、ブリッジ、金属部分義歯、顔面補綴歯科矯正装置を製作する。



成果（訓練結果）

1. 歯冠、ブリッジの製作能力を習得する。
2. 金属義歯の製作能力を習得する。
3. 顔面補綴の製作能力を習得。
4. 金属およびアクリルsplintsの製作能力を習得する。
5. 矯正歯科装置の製作能力を習得する。

付録
追加情報

プログラム番号 : J : 17-3-2002 O.MED

部門 : 口腔内科

訓練名 : 顎関節症治療

直接目標 : 訓練により、研修生はより効果的に顎関節症患者の治療を行うことができる。

実施予定地 : 日本

期間 : 6-9ヶ月

研修生 : Dr.S.P.A.G.Ariyawardena

指導者 : 顎関節症専門家

投入機材 : 咬合圧測定装置

筋電計、超音波heat therapy 装置、経皮electrical 神経刺激装置、Jaw tracking device (詳細 添付書類参照)

プログラム要約

上位目標

新歯学部病院における顎関節症患者の治療レベルが向上する。



直接目標

研修生は顎関節症患者をより効果的に治療することができる。



成果 (訓練結果)

1. 顎関節症のaetiopathogenesis 臨床像、診断、治療等の理論知識が向上する。
2. 顎関節の関節穿刺や関節造影、口顔筋系筋電図検査等の実践技術とその解釈能力を習得する。
3. 顎関節症患者の心理的側面の評価法を学習する。
4. 咬合器の適用等、顎関節症の様々な物理療法の実践能力を習得する。

付録
追加情報

プログラム番号 : J:17-3-2002 O.MED

Division : 口腔内科

訓練名 : 顎関節症治療

機材リスト

カタログ番号がわかるものは写真のコピーを添付。

コンピュータによる咬合分析機およびその付属品 :

モリタ カタログ番号 : 643-100

643-200

643-310

643-220

643-110

643-300

筋電計およびその付属品 :

モリタ カタログ番号 : 615-700

615-701

615-702

615-121

615-122

615-123

615-124

615-631

電気化下顎刺激装置 :

モリタ カタログ番号 : 615-103

電気下顎運動診断装置 K6-1EX (jaw tracking device)とその付属品 :

モリタ カタログ番号 : 615-670

615-410

経皮電気神経刺激装置

超音波温熱療法装置

プログラム番号 : J : 18-3-2002 G.PATH
 部門 : 口腔病理学
 訓練名 : 免疫組織化学
 直接目標 : ペラデニヤ大学歯学部において医療サービス、研究活動のため免疫組織化学検査を実施することができる。
 実施予定地 : 日本
 期間 : 12ヶ月
 研修生 : Dr.E.A.P.D.Amaratunga, 口腔病理学 講師
 教材 : 免疫組織化学用 化学薬品
 FDS/UP投入機材 : 機材は基本的に無償資金協力により入手可能。2-3品目が実施時に必要となる可能性あり。

プログラム要約
上位目標

免疫組織化学の診断基準を質、量的に向上させる。

↑
直接目標

ペラデニヤ大学歯学部において医療サービス、研究活動のため免疫組織化学検査を実施することができる。

↑
成果（訓練結果）

- | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|--|
| 1. 免疫組織化学の理論的知識を強化する。 | 2. 免疫組織化学の基本的実験室技術の習得する。2.1-2.6 | 3. 低温槽切片のreplaceおよび凍結切片調製用低温槽の取り扱いを習得する。 |
| 4. 品質管理を含む免疫組織化学実験室の運営能力を習得する。 | 5. 免疫組織化学の結果解釈の能力を習得する。 | 6. 下記+の免疫組織化学技術を習得する。 |

追加情報 :

組織内のある化学物質の存在を特異的に確定する組織学的染色法

+ ケラチン、デスミン、アクチン、神経フィラメント、S-100,ファクターXIII、CD 3, CD 4, HMB 45,A.L.26、UCHL-1, シナプトフィシン, AIP等

プログラム番号 : J : 19-3-2002 BIO.CHEM.

部門 : 生化学
訓練名 : 口腔生化学技術
直接目標 : 日常業務の中で口腔生化学的技術を使うことができる。
実施予定地 : 日本
期間 : 6ヶ月
研修生 : Dr.W.R.Wimalasiri, 生化学講師
指導者 : 口腔内液の分析の経験をもつ生化学者
教材 : 免疫測定 plates
FDS/UP投入機材 : multichannaled ピペット100 μ l
マイクロピペット (50, 10, 0.5 μ l) , Elisa reader

プログラム要約

上位目標

口腔内液分析に関して生化学的技術を使うことができる。



直接目標

歯肉溝液、嚢胞内液分析に関する生化学的技術を習得する。



成果 (訓練結果)

1. 口腔疾患診断用生化学的分析技術の理論的知識を向上させる。
2. 分析用機器の操作と管理方法を習得する。
3. 歯肉溝液、唾液eg-IgA pH,蛋白等の分析に必要な実験室での基本的な技術を習得する。
4. 嚢胞内液の分析 (コレステロール、蛋白) のための実験室での基本的試験法を習得する。

プログラム番号 : J : 20-3-2002 G.PATH

部門 : 一般病理

訓練名 : 基礎分子生物学診断技術

直接目標 : 訓練により研修生は分子生物学における実践的な診断、研究活動、および訓練を行うことができる。

実施予定地 : 日本

期間 : 12ヶ月

研修生 : 研修者名 追って発表。

教材 :

FDS/UP投入機材 : 遠心分離機、UV分光光度計、PCR reactor (Perkin Elmer)

プログラム要約

上位目標

口腔悪性腫瘍に進行する白板症を発見するための分子生物学研究室の設立する。

直接目標

基礎技術と知識の習得により分子生物学技術を使つての実験室での活動のレベル向上させる。

成果 (訓練結果)

1. 細胞生物学、DNA、遺伝学、DNA組み替え技術、分子生物学技術等、十分に知識を強化する。
2. DNA extraction, 電気泳動 DNA digestion??, PCR サザンプロットの理論知識、データ分析法の強化する。
3. DNA extraction, 電気泳動、DNA digestion, PCR, サザンプロット法等の実践能力を向上させる。
4. 組織保存技術や分子生物学研究用の調製方法の知識を強化する。
5. 実験室の運営、管理経験を高める。
6. ヒトの疾患に対し分子生物学技術の適用するための知識を強化する。

追加情報 :

訓練は分子生物学研究室の設立されている日本の施設で行われること。
スリランカにおける口腔悪性腫瘍の問題は大変大きく、危険な病変の早期発見のためにこのような機関が設立されると生存率は著しく増加するだろう。注釈参照。

付録：

追加情報：

プログラム番号：J: 20-3-2002 G.PATH

Division : 一般病理

訓練名 : 基礎分子生物学診断技術

注 釈

1. スリランカでは口腔悪性腫瘍の発生率が大変高く、（口腔鱗状悪性腫瘍が全悪性腫瘍の40%をしめる。）通常、白板症と呼ばれる先在する病変から進行する。しかし全ての白板症が口腔悪性腫瘍に進行するわけではない。そのため、もし危険な病変が前もって発見されると治療はより簡単で効果的なものとなる。
2. 我々はすでに二名のスタッフを海外へ分子生物学研究活動のため派遣している。その研究用資料がスリランカから送付された。（口腔悪性腫瘍300症例、異形成病変150症例）スリランカでは口腔悪性腫瘍に関する研究用資料は豊富にあるが研究活動のできる機関が不足している。研究用機関が設立されれば口腔癌に関する多くの研究が可能となり、日本人研究者は歯学部にてこれらの資料を用い、共同研究を行うことができる。
3. これらの施設、機材は口腔病理学、一般病理学、口腔診断学、口腔外科、歯周病学、薬理学、微生物学、解剖学、口腔解剖学、生化学教室すべてのスタッフが使用することになる。さらに、これにより歯学部卒業訓練を地域locallyで行う機会がもてるようになる。
4. 区体はすでに歯学部の無償資金協力プロジェクトにより供与されている。機材数品目が必要とさる。（リスト参照）

付録：
追加情報：

プログラム番号：J：20-3-2002 G.PATH

Division : 一般病理

訓練名 : 基礎分子生物学診断技術

分子生物学研究室機材リスト

1. 遠心分離機 refrigerated
2. Electrophoresis Kit (アガロースゲル装置)
GIBCO BRL Horizon58 (small)
カタログ番号 41060-013
Horizon 11.14 (medium)
カタログ番号 11058-012
3. サザンブロット法装置
4. マイクロピペット (0.5) およびピペット Tips
Rainin
ピペット2、10、20、100、1000
5. UV illuminating camera
6. PCR Reactor Perkin Elmer
PE 9600 遺伝子amplifore PCR system
カタログ番号 N801-0001
7. DNA, RNA分析用UV 分光光度計
8. かくはん機 Rotamixer
9. Deep freezer M -20℃
10. Power Supply-Biocad Power Pack
300
カタログ番号 165-5051

プログラム番号：J：25-3-2002 RADIOL.

部門：顎顔面放射線科

訓練名：歯科放射線技師の訓練

直接目標：訓練により、研修生が放射線科機材を効率的に使用、保管できるようにする。

実施予定地：日本

期間：6-9ヶ月

研修生：放射線技師

指導者：口腔顎顔面放射線学専門家

教材：

FDS/UP投入機材：

プログラム要約

上位目標

放射線科機材を効果的に使用できる。



直接目標

放射線科機材を効率的に保管し、効果的に使用することができる。



成果（訓練結果）

1. 放射線科機材の保管についての原則を学習する。
2. 口腔顎顔面放射線学における放射線技術の理論知識と技術を習得する。
3. 放射線写真の品質管理の原則を学習する。
4. 放射線保護の理論と実践を学習する。
5. 放射線写真の保管、修正の有効な方法を学習する。

追加情報：

付 録 XII

付録-XII スリランカ、日本における訓練プログラム用機材リスト

最 重 要	重 要	希 望
<p>保存歯科 SL 11-98. Rest. Pros Anatomical 咬合器 Face bows 遠心鋳造機</p> <p>口腔外科 SL 3-1-98 O.Surg. 血液ガス分析機 手術用顕微鏡 PCA ポンプ ECG 12 lead</p> <p>解剖学 SL 5-1-98 Anat. 硬組織slicing machine 顕微鏡 + CCDカメラ 2×モニタ</p> <p>学部長室 SL(0-3) 1997-2003 Dean 卓上デジタル複写機 コンピュータ接続器、付属品 スキャナー (カラー) ラミネート機 ペーパーカッター 製本機 綴じ機 マルチメディア映写機 映写スライド用コンピュータ システム</p>	<p>小児歯科 SL 19-2-2000 Paedo 2×ポータブル歯科ユニット 2×デンタルチェア ブック型コンピュータ/プリンタ 障害者用デンタルチェア</p> <p>口腔内科 J 17-3-2002 O.Med コンピュータ咬合分析器 超音波温熱療法装置 経皮電気神経刺激装置 E.M.G.</p> <p>口腔内科 J 8-1-1999 O.Med. 水銀分析システム</p> <p>口腔内科 J28-3-1999 O.Med. 小型レーザーユニット</p> <p>歯科矯正学 J12-2002 Ortho. digitalizer, プロッター</p> <p>歯科公衆衛生学 SL32-3-2002 Comm. テレビモニター、ビデオ</p> <p>生理学 SL22-2-2001 Phys. 心肺蘇生術用マネキン ヘマトクリット E.C.G.machine-6チャンネル</p> <p>生化学 J19-3-2002 Biochem. Multichannel ピペット single channel ピペット</p> <p>口腔外科 J2-1-1998 O.Surg 外科用ドリル付属品 (ELAN-E, Aesculap)</p>	<p>口腔内科 J 17-3-2002 O.Med 電気下顎運動診断装置 (Jaw tracking 装置)</p> <p>歯周病学 SL13-1-1999 Perio Dent test perio system USA フロリダprobe USA ELISA reader</p> <p>一般病理学 SL-27-2-2002 G.Path 心肺蘇生装置 Mol/Bio用遠心機 電気泳動装置</p> <p>一般解剖学 SL-5-1-1998 Anat. シリコン包埋機</p> <p>生化学 J-19-3-2002 Biochem. Elisa reader</p> <p>口腔外科 SL-4-1-1998 O.Surg. 心肺蘇生術用マネキン</p> <p>口腔外科 SL-2-1-1998 O.Surg. ブック型コンピュータ プリンタ</p>

優先順位の基準 (機材)

最 重 要

1998年の開始時、訓練およびサービスを機能させるために不可欠な機材。

訓練プログラム最重要機材。

重 要

多様な用途を持つ機材。

例 : Tooth silicing machine

訓練プログラム用重要機材。

希 望

訓練プログラムに間接的に関連する研究活動用機材。

科学の新分野を開発するために必要な機材。

最 重 要 機 材

講 座	プログラム番号	品 目
保存歯科	SL 11-98 Rest.,Pros.	Anatomical咬合器 Face Bows 遠心鑄造機
口腔外科	SI 3-1-98 O.Surg.	血液ガス分析器 手術用顕微鏡 ECG12 lead
解剖学	SL 5-1-98 Anat.	硬組織 slicing machine 顕微鏡+CCDカメラ+2 モニタ
学部長室	SL(0-3) 1997-2003 Dean	卓上デジタル複写機+コンピュータ接続器+付属品 スキャナー (カラー) ラミネート機 ペーパーカッター 製本機 綴じ機 マルチメディア映写機 映写スライド用コンピュータシステム

重 要 機 材

講 座	プログラム番号	品目
小児歯科	SI 19-2-2000 Paedo	2×ポータブルデンタルユニット、チェア ブック型コンピュータ、プリンタ 障害者用デンタルチェア
口腔内科	J 17-3-2002 O.Med.	Computerised Occlusal analyser 超音波熱療法装置 経皮電気神経刺激装置 E.M.G.
口腔内科	J 8-1-1999 O.Med.	水銀分析装置
	J 28-3-1999 O.Med.	小型レーザー装置
歯科矯正学	J 12-2-2002 Ortho.	Digital & Plotter
歯科公衆衛生学	SL 32-3-2002 Comm.	テレビモニタ、ビデオ
生理学	SL 22-2-2001 Phys.	心肺蘇生術用模型 ヘマトクリット E.C.G.装置-6 channels
生化学	J 19-3-2002 Biochem.	multichannelピペット single channelピペット
口腔外科	J 2-1-1998 O.Surg	外科用ドリル (ELAN-E,Aesculap)

希 望 機 材

講 座	プログラム番号	品 目
口腔内科	J 17-3-2002 O.Med	電気下顎運動追跡装置
歯周病学	SL 13-1-1999 Perio.	歯科用test perio system USA Florida probe USA ELISA reader
一般病理	SL-27-2-2002 G.Path.	心肺蘇生術装置 Mol/Biol用遠心機 電気泳動装置
一般解剖学	SL-5-1-1998 Anat.	シリコン包埋機
生化学	J-19-3-2002 Biochem.	ELISA reader
口腔外科	SL-4-1-98 O.Surg.	心肺蘇生術用模型
口腔外科	J 2-1-1998 O.Surg.	ブック型コンピュータ、プリンタ

付 録 XIII

歯学部 教官 リスト

学部長 Dr.Ajith W.Ranasinghe BDS.,M.Med.Sc.,Ph.D(Lond.)

講座/部門

Community Dental Health講座

1. 歯科公衆衛生学

Prof.A.N.I.Ekanayaka	教授	BDS,Ph.D(Lond.)DDPHRCS(Eng.)
Dr.(Ms.)S.L.Ekanayaka	Senior 講師	BDS,Ph.D(Lond.)
Dr.Racindran	講師	BDS,M.Sc(COmmunity Dentistry)

2. 小児歯科学

Dr.R.L.Wijeyeweera	Senior講師	BDS,Ph.D(New York)
Dr.V.Vijayakumaran	講師	BDS
Dr.J.K.D.J.A.U.Jayawardena	講師	BDS-海外

3. 歯科矯正学

Dr.(Ms).S.P.N.P.Nagaratne	Snr.講師	BDS,MS(Sri Lanka)
Dr.(Ms).N.C.Wanigasooriya	Snr.講師	BDS,DDORCPS(Glasgow)
Dr.S.Premaraj	講師	BDS-海外
Dr.K.A.Kalyanaratne	講師	BDS

口腔内科学 および 歯周病学講座

1. 口腔内科学

Dr.Ajith W.Ranasinghe	Snr.講師	BDS,M.Med.Sc(Cey.),Ph.D(Lond)
Dr.M.A.M.Sitheequ	Snr.講師	BDS,FDSRCPS(Glasgow)

2. 歯周病学

Dr.(Ms).P.S.Rajapakse	Snr.講師	BDS,M.Phil(Cey.)-海外
Dr.A.Chandrasekera	Snr.講師	BDS,M.Phil(Cey.)
Dr.(Ms).A.Tilakarathne	講師	BDS-海外

3. 微生物学

Mr.G.J.Panagoda	講師	BSc.(India),MSc(Sri Lanka) -海外
Dr.(Ms).T.Premaraj	講師	BDS-海外

4. 薬理学

Dr.S.M.X.Corea	Snr.講師	MBBS(Cey.),DPH(Liv)
Dr.A.N.B.Ellepola	講師	BDS-海外

5. 放射線学

Dr.(Ms.)T.Vidya	講師	BDS
-----------------	----	-----

口腔病理学講座

Prof.B.R.R.N.Mendis	教授	BDS,FDSRCS(Eng.&Edin)Ph.D(Bristol)FFSRCS(P
Dr.E.A.P.D.Amartunge	Snr.講師	BDS,MSc(Lond.),FDSRCS(Eng)
Dr.W.M.Tilakratne	講師	BDS,MS(Part II),FDSRCS(Eng.)海外
Dr.(Ms.)P.R.Jayasooriya	講師	BDS

1. 一般病理学

Dr.U.B.Dissanayaka	講師	BDS-海外
--------------------	----	--------

口腔外科学講座

Dr.T.Anandamoorthy	Snr.講師	BDS,FDSRCPS(Glasgow)
Dr.(Ms.)K.Ravindran	講師	BDS,FDSRCS(Eng.)-海外
Dr.J.V.A.Jayasinghe	講師	BDS
Dr.(Ms.)T.Thavavathanee	講師	BDS

保存歯科講座

Dr.K.M.Wettasinghe	Snr.講師	BDS,MS(PGIM)
Dr.(Ms.)D.I.Amartunge	講師	BDS
Dr.K.M.Wijeratne	講師	BDS
Dr.(Ms.)P.M.Ratnaweera	講師	BDS

基礎科学講座

1. 生化学

Dr.W.R.Wimalasiri	Snr.講師	BDS,Hons(スリランカ),Ph.D(スリランカ)
-------------------	--------	-----------------------------

2. 生理学

Dr.A.J.Pitigala Arachchi	Snr.講師	BDS,Ph.D(Bristol)
Dr.(Ms.)J.K.C.Amarasena	講師	BDS
Dr.(Ms.)Y.M.Arsecularatne	講師	MBBS(Sri Lanka)

3. 口腔解剖学、組織学

Dr.P.Samaraweera	Snr.講師	BDS,MS(PGIM),FDSRCS(Eng.)
Dr.(Ms.)T.Ramesh	講師	BDS,M.Phil(Sri Lanka)-海外
Dr.(Ms.)Y.Arudchelvan	講師	BDS
Dr.(Ms.)J.A.C.K.Jayawardena	講師	BDS
Dr.K.A.S.N.Ariyasinghe	講師	BDS

4. 一般解剖学

Dr.(Ms.)T.N.Dissanayake	講師	BDS
-------------------------	----	-----

